

令和7年度浜田地域保健医療対策会議【議事概要】

【日時】 令和8年3月17日（火） 19:00～21:00

【場所】 浜田合同庁舎 2階 大会議室

【出席者】 各医師会長、浜田江津歯科医師会長、島根県薬剤師会各支部長、島根県看護協会浜田支部長、各病院長他、島根県環境保健公社浜田支所長、浜田圏域健康長寿しまね推進会議会長、浜田圏域老人施設協議会会長、各介護支援専門員協会、島根県訪問看護ステーション協会浜田支部長、島根県食品衛生協会浜田支所長、保険者協議会、各消防本部消防庁、住民代表、浜田市長他、江津市長他、浜田地区・広域行政組合（欠席）、事務局

【議題】

1 報告事項

- (1) 医療・介護連携部会の報告について
- (2) 浜田圏域の健康課題と対応について
- (3) 歯科医療提供体制維持に向けての中国5県調査について

2 意見交換

- ・5疾病6事業及び在宅医療の取組状況と評価

3 その他

- ・令和7年度の取組の報告のお願い
- ・浜田地域保健医療対策会議委員の就任依頼（R8.4.1～R10.3.31）
- ・R8年度の保健医療計画（中間評価の年）

【主な意見・協議結果について】

1 報告事項

(1) 医療・介護連携部会の報告について

- ・浜田圏域では、有床診療所が減少し無床診療所化が進んでいる。医療機関も減少。回復期病床が少なく、圏域外流出している。
- ・医療職だけでなく、介護職も人材確保が困難である。
- ・身寄りのない人への対応と、ACPの普及、介護職のシャドーワーク等が課題である。

(2) 浜田圏域の健康課題と対応について

- ・身体面では、壮年期男性の脳出血、壮年期女性の心疾患による死亡が課題であ

る。要因としては高血圧。男女ともに血圧が高い。糖尿病や脂質異常が県平均よりも高く、肥満が多い。

- ・フレイル予防と循環器疾患対策、脳卒中等心不全の療養管理に取り組む。
- ・改訂された高血圧や心不全のガイドラインの周知が必要である。減塩の活動も推進する。

(3) 歯科医療提供体制維持に向けての中国5県調査について

- ・歯科診療所は少なくなっていく。歯科医師も高齢化で人材不足。歯科衛生士はもともと少ない地域。
- ・浜田市内では、金城町や旭町が治療困難地区になる可能性がある。江津市は桜江町。
- ・邑南町の取組紹介。施策としての取組を展開している。

2 意見交換

* 島根県保健医療計画第5章 5 疾病6 事業及び在宅医療を中心に意見交換実施
がん>

- ・薬剤師会；PCA ポンプの勉強会を開催。江津では、麻薬の在庫管理をMCSで情報共有している。
- ・訪問看護；PCA ポンプとMCSを利用したがん看取りの事例の紹介。

脳血管疾患>

- ・協会けんぽにおける未受診者への受診勧奨の紹介。

心血管疾患>

- ・済生会江津総合病院より、外来の生活習慣改善指導から心不全ポイントを活用した重症化予防に取り組んでいる。

糖尿病>

- ・保健所より、CKD シールの紹介。

精神疾患>

- ・西部島根医療福祉センターでは、発達障害の取組と高次脳機能障害の取組を紹介。
- ・西川病院では、アルコール依存症の取組を紹介。なかなか参加する患者が集まらない。

救急医療>

- ・浜田医療センターと済生会江津総合病院の救急医療の現状を紹介。済生会ではかなり重症な症例はドクターヘリで搬送されている。
- ・浜田市消防本部も江津・邑智消防もマイナ保険証の実証事業を実施している。活用率は上がっている。
- ・江津・邑智消防組合では、医療関係者間コミュニケーションアプリ“JOIN”を活用し、医療現場のコミュニケーションを円滑にしている。済生会病院への救急搬送のうちジ

ョインを活用したものは85.6%だった。広がっている。

災害医療＞

- ・災害時の透析マニュアルを県で作成中。

感染症対策＞

- ・浜田医療センター、済生会病院、江津市共催で高齢者施設研修会連絡会を開催した。
- ・浜田医療センター、済生会病院の開催する感染症対策行動カンファレンスに参加し、院内感染対策や感染症医療提供体制の強化を推進した。

地域医療＞

- ・看護協会より、医療職のPRの取組を紹介。
- ・浜田市江津市より、小中高からの人材確保の取組を紹介。

周産期医療＞

- ・済生会江津総合病院：産婦人科医の確保が難しく、依然として分娩は休止状態。
江津市の妊婦は、浜田医療センターと済生会病院との交互受診を強いられている。
- ・浜田医療センター：江津管内の妊婦の分娩も取り扱っている。医師不足もあるが助産師も不足している。国立病院機構や人材派遣会社から派遣してもらっている。出生数も減るので、機能分化を考えていけないといけない。
- ・江津市；島根県全体で周産期医療については考えていくと言われたが、何をされるのか。全く見えない。集約化はしていかないといけないと思うが、圏域でも情報収集や情報共有をお願いしたい。

小児救急＞

- ・済生会江津総合病院；総合診療医が小児科の勉強会をし、スキルアップしつつ、少しずつ受け入れをしていく予定。

在宅医療＞

- ・浜田市医師会；急性期後の受け皿の少なさが課題で、圏域外に患者が流出している。
特にケアマネとの顔の見える関係づくりを取り組んでいる。
グループ診療、看取り代診はこれから検討する。
- ・済生会江津総合病院；看取り代診が先日1件あった。医師の負担軽減に繋がっている。
- ・老人施設協議会；まねネットの普及に取り組みたいが、操作方法等が理解できない等があり、初歩的な研修から始めないといけないと感じている。